

◇干潟観察会を開催しました

平成 26 年 9 月 9 日、11 日 泡瀬干潟にて比屋根小学校 3 年生 4 クラスの生徒たちと一緒に、干潟観察会を開催しました。今回、観察した場所は、泡瀬通信施設向かいの干潟です。（以前は、沖縄県総合運動公園前の干潟で実施したが、自然環境がサンゴ礫の比較的単調な干潟であるため、観察できる生き物が似通ってしまう、ということで、今回の場所を選定しました。）2 日に分けたのは、一度に全学年が同一の場所での観察を行ってしまうと、そこに生息する生物などに悪影響を及ぼすことが懸念されるためからです。当日（両日）は干潟の自然に詳しい 2 名の講師をお招きし、観察会を実施しました。1 日目は 3 年 1 組と 3 年 3 組、2 日目は 3 年 2 組と 3 年 4 組です。当日は、60 人乗りの大型バス 1 台にて、2 クラス同時に小学校から生徒と先生が移動となりました。まず最初に、危険生物・干潟観察のマナーなどの説明を行い、その後、クラス毎に分かれ、干潟の観察をしました。リュウキュウコメツキガニやミナミベニツケガニ、ツノメガニが観察できました。また、砂質の環境では、講師が実際に少し穴を掘り、その中の生き物が棲む様子（ゴカイの棲管）を示しました。暑さなどの為、砂中に潜っているミナミコメツキガニを発見し、掘り出し、その場において、再び潜る様子なども観察しました。

